

## 第3回白石越河風力発電事業に係る地域共生協議会議事録

1. 日 時 : 2024年5月27日(月) 14:00~14:30

2. 場 所 : 白石市役所4階大会議室

### 3. 出席者

#### (1) 協議会委員

小沢晴司委員(会長), 佐藤秀行委員, 細田紀明委員, 紺野澄雄委員(副会長), 吉田茂徳委員, 高橋真人委員, 小川修平委員, 毛利春樹委員, 志村洋一委員, 渋谷麻理子委員, 大戸伸樹委員, 佐久間吉光委員, 遠藤正一委員, 末永佳之委員, 佐久間誠委員, 鈴木春夫委員, 大浦正一委員, 岩松義則委員 計18名

※四釜咲男委員, 八巻満委員, 阿部直樹委員は欠席

#### (2) オブザーバー

宮城県 環境生活部次世代エネルギー室 槻田典彦室長, 須永健太技術主査

#### (3) 市町村

白石市 市民経済部環境課 日下忠績課長, 中澤千枝子課長補佐

#### (4) 事務局

東北電力株式会社 企画・開発部 板井雅之副部長, 嶋田祥一課長, 平賀元副長, 荘司優介担当, 五十嵐裕和主査(記)

### 4. 概 要

別添「第3回白石越河風力発電事業に係る地域共生協議会 次第」に沿って協議等を行った。結果は以下のとおり。

#### ■第2回協議会議事録の確認・・・配付資料1

✓配付資料の内容をもって確定とし, 協議会規約第15条4項に基づき, 後日, 議事録を白石市ホームページで公表することとした。

#### ■協議(1) 地域貢献策の具体的内容について・・・配付資料2

✓前回の協議会にて, 地域貢献策としての支援金の拠出は, 風車が立地する4地区及び白石市への合計で840~1,000万円/年とすることで承認されていたが, 今回の協議会までに白石市から本件について事業者へ提案があったことから, 白石市から事業者へ提案した内容について説明があった。

##### 【白石市からの提案内容】

・前回の協議会における説明では, 840万円については洋上風力発電事業における協力金の算定方法, 1,000万円については, ほぼ同規模の陸上風力発電事業における協力

金の算定方法の事例を踏まえたものであったが、白石越河風力発電事業は陸上風力発電事業であることから、同規模の他の陸上風力発電事業の事例及び白石市の地域課題解決のための事業に貢献いただくという趣旨を踏まえ、市及びまちづくり協議会への支援に係る算定基礎としては、上限値の1,000万円を採用いただきたいと考えている。

- ・白石市においては、ゼロカーボンシティ宣言のもと、市民とともに地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を作成しようとしているが、特にこの取り組みを一層促進させるため、840~1,000万円の金額とは別枠として事業者からの支援金を当市の地球温暖化対策事業に活用させていただけないかと考えている。

一例をあげれば当市では、宮城県の「みやぎ環境税」を財源とした「みやぎ環境交付金」を活用して、公共施設のLED照明化や電気自動車等の導入を図っており、おおよその事業規模は年額500万円ほどである。

さらに事業者から同規模の支援を増額いただければ、省エネの推進や再エネの導入促進など、地域の皆様、市民の皆様がメリットを享受できるような、一層の地球温暖化対策事業が推進できるものと考えている。

- ・支援金の算定基礎についての市の提案は以上であるが、配分手続き等の詳細は、運転開始までに関係地区からのご意見やご要望を踏まえ、市及び関係当事者で協議の上、適切に決定してまいりたいと考えている。

✓この提案内容について、事務局から、あらかじめ社内で検討した結果について説明した。

#### 【事務局からの説明内容】

- ・支援金の金額については、地域社会の一員として、地域に寄り添いながら事業を実施するという趣旨から、事業者として最大限努力させていただきこととし、1,000万円とさせていただきたい。
- ・白石市が2050年二酸化炭素実質排出量ゼロを目指すゼロカーボンシティに向けた、地球温暖化対策事業を一層促進する取組みに対するご支援については、正直に申し上げて事業採算性は厳しいところもあるが、事業者が求める再生可能エネルギーの普及拡大の趣旨と合致するものと判断し、地球温暖化対策事業分として先ほどの1,000万円と別枠で500万円を拠出することについて賛同する。
- ・なお、協力金拠出については、あくまでも白石越河風力が運開した場合に売電収入から行うものであり、期間については原則として運転開始以降20年間となる。

✓審議の結果、事業の成立を条件に、運転開始後20年にわたり、地域貢献策としての支援金として、風車が立地する4地区及び白石市への合計1,000万円に、用途を白石市の地球温暖化対策に限定した500万円/年を加えた1,500万円/年を拠出することで承認が得られた。

#### 【質 疑】

委 員：協力金について、事業区域内の各まちづくり協議会（越河、斎川、大平、小原）への配分額はどうか。

事務局：地球温暖化対策事業分の500万円を除く1,000万円の配分や受け渡し方法等の

制度設計については、関係当事者の意見をよく聞きながら一定程度の時間をかけて検討する必要があると考える。従って、協議会においては総額について合意いただき、配分等の詳細は、運転開始までに別途白石市や関係当事者と協議の上で決めてまいりたい。

■協議（２）地域脱炭素化促進事業等計画書兼認定判断シートにおける協議会評価欄の確認について・・・配付資料３

- ✓特段の異議なし。
- ✓配布資料３に記載した案のとおり、地域脱炭素化促進事業等計画書兼認定判断シートの各項目における「適否の判断」及び「総合判断」欄について、協議会として「適」とすることが決議された。

■その他

- ✓上記の協議結果をもって、協議会の開催は原則として今回で終了とすることとなった。
- ✓ただし、前回の協議会で承認されたとおり、仮に今後、事業計画の大幅な変更があった場合に再協議となる可能性があることを想定し、協議会自体は解散せずに当面の間は存続することとし、何も問題が無ければ、来年３月の委嘱期間満了をもってそのまま解散とすることを確認した。

以 上

（添付資料）

- ✓第３回白石越河風力発電事業に係る地域共生協議会 次第
- ✓配付資料１．第２回白石越河風力発電事業に係る地域共生協議会議事録
- ✓配付資料２．白石越河風力発電事業に伴う地域貢献策について（案）
- ✓配付資料３．地域脱炭素化促進事業等計画書兼認定判断シート（案）